

## 9/12 これからも力を合わせて海を美しく ～海事関係功労者国土交通大臣表彰～

▶丸山教育長、嶋津さん、古屋敷さん、前畑市長、橋本校長（左から）



20年以上にわたる荒尾干潟での清掃活動が認められ、第一小学校は海事関係功労者国土交通大臣表彰を受けました。同小では三池海上保安部と協力し、校区内にある打越海岸でクリーン作戦や漂着ごみの調査などを行ってきました。

同小4年の嶋津貫太さん、古屋敷冬子さんが市役所で前畑市長に受賞を報告。二人は「先輩たちが毎年続けてきた伝統を継承できて、誇りに思う。これからもみんなで力を合わせて、海をきれいにしていきます」と、話していました。

## 9/13 これからもお元気で ～敬老大会～

▶謝辞を述べる藤田さんと濱崎さん（左から）



荒尾市老人クラブ連合会と市の共催で敬老大会を文化センターで開催しました。ことし、市内では373人が米寿を迎え、表彰を受けました。米寿を代表者として藤田竹一さん（西原町二丁目）と濱崎満江さん（上小路）が謝辞を述べました。また、老人クラブ連合会の功労者表彰も行われました。アトラクションでは、野原保育園と桜山保育園の園児たちによるお遊戯や各地区老人会による演芸などが披露され、700人ほどの来場者を楽しませました。

## 9/21 ありがとう、万田坑！ ～創作ステージ「万田坑そびえる街」～

▶炭鉱最盛期頃の運動会の様子をパレエで楽しく表現しました。



創作ステージ「万田坑そびえる街」は文化センターで上演され、1,200人が来場しました。万田坑の世界遺産登録をみんなで応援しようと、市民200人ほどがステージに参加。朗読・パレエ・歌・映像・音楽からなるステージには、炭鉱に関わりの深い團琢磨・柳原白蓮・山本作兵衛に扮した市民も登場しました。争議や事故の場面では、涙を流す人も見受けられ、炭鉱で働いた人たちへ思いを巡らせていました。参加者と来場者は心一つになって感動の時間を過ごしました。

## 9/26 固い絆で50年 ～金婚夫婦表彰式～

▶謝辞を述べる西村誠さん（右）、サトノさん（左）夫妻。



金婚夫婦表彰式は文化センターで開催されました。熊本日日新聞社と荒尾市の共催です。

ことしは結婚50年を迎えた46組の夫婦が祝福を受けました。金婚夫婦代表の西村誠さん、サトノさん夫妻（蔵満）は「東京オリンピックの年に結婚し、多くの人に支えられ、今日まで生きてきました。これからは、互いに健康に気をつけて、地域社会へ恩返しができるよう精進します。」と、謝辞を述べました。50年を共に歩んできた夫婦の新しい記念日となりました。

## 9/13 郷土の史跡を思い思いに描く ～万田坑スケッチ大会～

▶150人ほどの小学生が力作に挑みました。



市内の小学生を対象に万田坑でスケッチ大会が開催されました。万田坑のスケッチを通して、子どもたちの郷土愛を育み、世界遺産登録への機運を高めようと荒尾青年会議所の主催で毎年行われています。

参加した小学生は「レンガの色を絵具できれいに表現できた」「レンガがたくさんあって描くのが大変！」と、話しながら、思い思いの万田坑を画用紙いっぱいのにびのびと描いていました。

## 9/13 ご縁がありますように ～四山神社秋季例大祭 こくんぞさん～

▶福銭は神様と金運にご縁があり、商売繁盛・縁結び・家庭円満のご利益があります。



四山神社でこくんぞさんが行われました。この祭りでは福銭と呼ばれる五円を借り、次のお礼参りで倍額以上を添えて返すのが習わしです。

当日は地元の子供たちが浦安の舞と豊栄の舞を奉納。また、境内横の三池港灯台の一般公開も行われ、参拝を終えた人などが灯台に上り、四ツ山からの景色を楽しんでいました。

福銭をもらった人は「前回の願いごとがかなったので、今回もお参りに来ました。次回もお礼参りができるとうれしい」と、話していました。

## 9/27 先人に思いをはせる ～音と光の祭典 in 宮崎兄弟生家～

▶一小の生徒が堂々と司会を務めました。



宮崎兄弟の生家で一小校区元気づくり委員会が音と光の祭典を開催しました。楽器演奏、食品バザーやお茶会などが行われ、1,100人ほどが地区住民手作りのイベントを満喫しました。夕方になると行灯や竹灯籠に明かりがともされ、会場は幻想的な雰囲気になりました。ことし、初めて一小の6年生がスタッフとして事前準備や当日の手伝いに参加。スタッフを務めた子は「毎年、遊びにきていたけれど、ステージの裏側を知れて面白かった」と、話していました。

## 9/28 秋風に吹かれながら詩情を楽しむ ～海達公子文学散歩道ウォーク&ラリー～

▶スタンプラリーに参加すると記念品がもらえます。



荒尾市出身の少女詩人・海達公子の詩碑やゆかりの地を巡る文学の散歩道ウォーク&ラリーが開催されました（主催：一般社団法人海達公子顕彰会）。県内外から100人ほどが参加し、公子の詩や荒尾の風景を楽しみながら歩きました。現在23基ある詩碑は、今年度中に新たに建立され、26基に増えます。

公子と同じ玉名高校出身の参加者は「歴史とウォーキングが大好きなので、このイベントを毎回楽しみにしている」と、話していました。